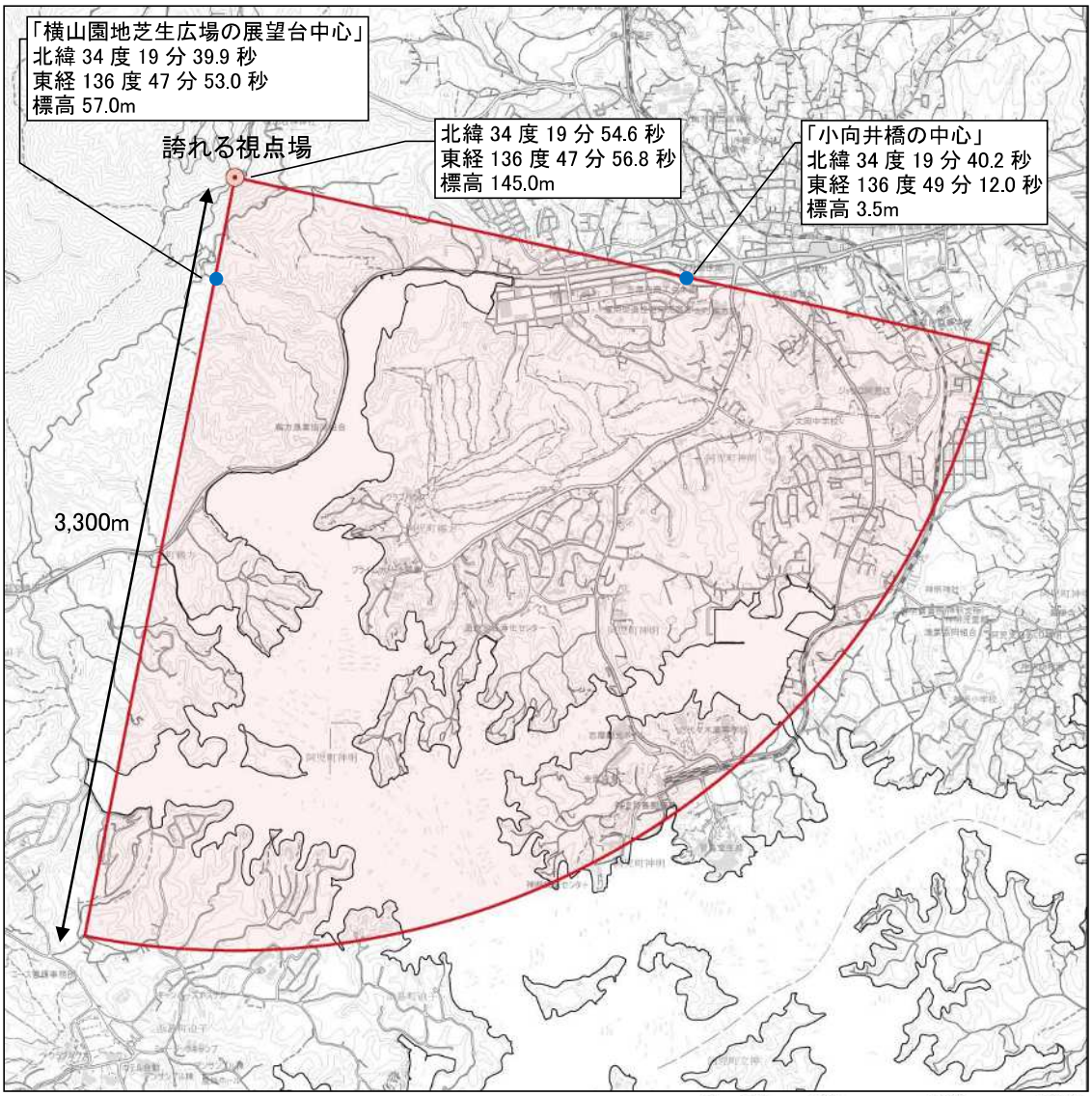
眺望保全地区における添付写真

※眺望保全地区における景観形成基準のチェックにあたっては、視点場から撮影した２種類の写真を添付し、建物等の概ねの形状を記入してください。なお、写真アングルは行為地が中心となるよう配慮してください。

※眺望保全地区、視点場の位置、数値データは次のとおりです。
（チェックにあたり使用する写真が必要な場合は窓口にお問い合わせください）

横山展望台眺望保全地区の視点場	・緯度　北緯 34 度 19 分 54.6 秒
	・経度　東経 136 度 47 分 56.8 秒
	・標高　145.0m

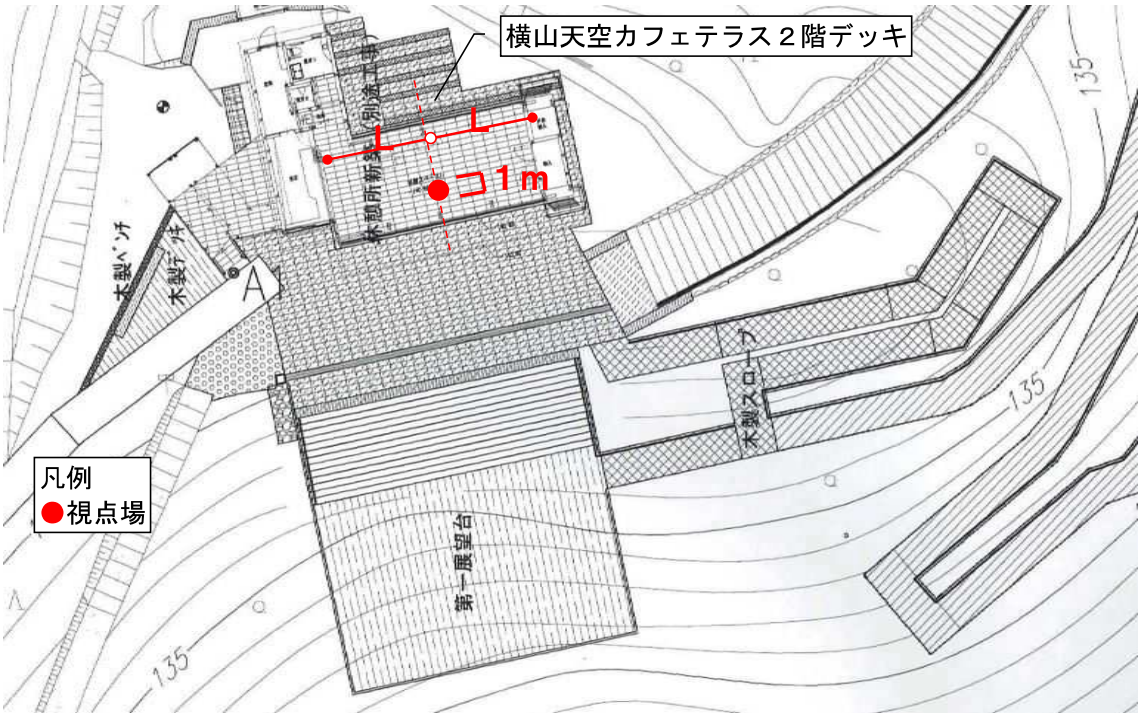
図　横山展望台眺望保全地区



出典：2006　三重県共有デジタル地図（数値地形図 2500（道路縁 1000））三重県市町総合事務組合

□視点場の詳細

横山展望台については、伊勢志摩国立公園のナショナルパーク化に伴い「横山天空カフェテラス」が整備されたため、視点場の変更が必要となった。このため、横山天空カフェテラス２階のデッキに次のとおり新たな視点場の設定を行います。



【横山天空カフェテラス２階デッキ・視点場】

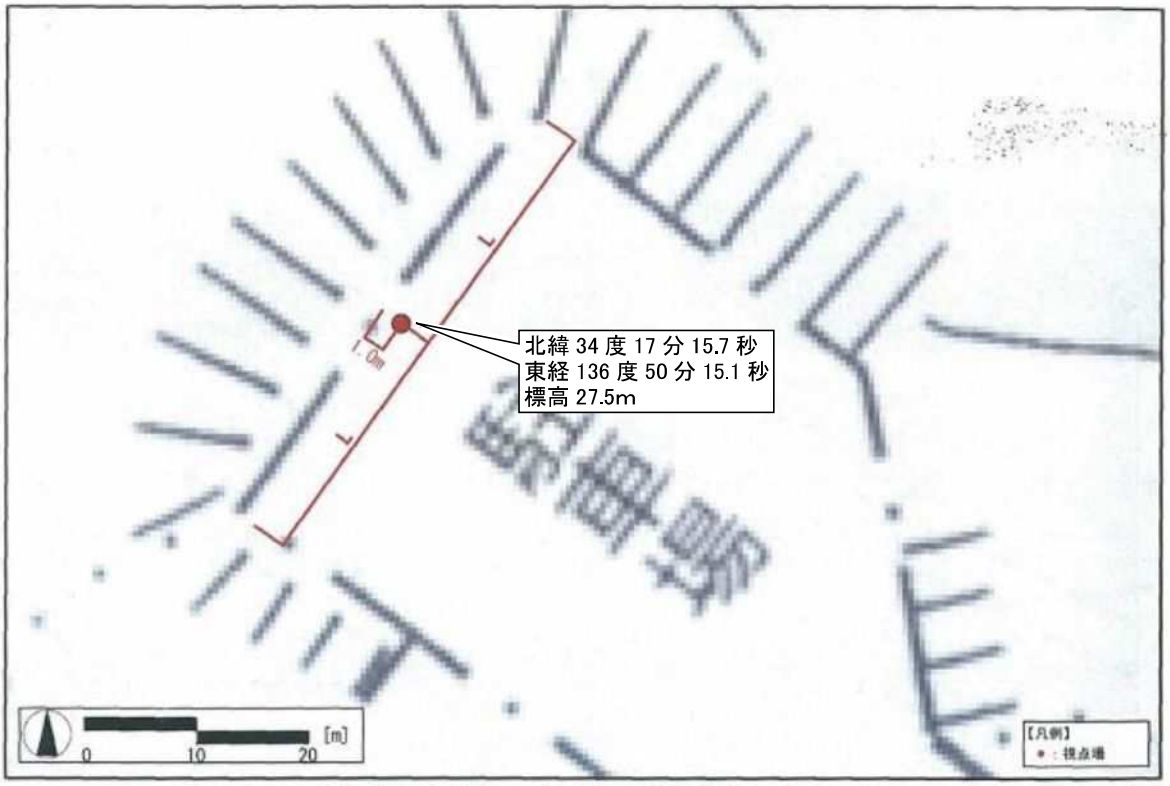
【横山天空カフェテラス２階デッキ・視点場】

【横山天空カフェテラス２階デッキ・視点場からの眺望】

桐垣展望台眺望保全地区の視点場	・緯度　北緯 34 度 17 分 15.7 秒
	・経度　東経 136 度 50 分 15.1 秒
	・標高　27.5m

□視点場の詳細

視点場候補地周辺には、案内板や石碑、駐車場が存在する。案内板には桐垣展望台からの眺望景観について説明が書かれており、眺望方向に向かって設置されていることから視点場としてふさわしい場であると考えられるが、案内板正面よりも高い位置にある駐車場からの方が視対象に向かって視界が良好に広がっているといえる。このことから、視点場の位置は、視対象に向かって駐車場両端の中心、視対象側の駐車場境界から水平距離 1.0m、地盤面高さ 1.5m の位置（北緯 34 ‘17’ 15.7°、東経 136 ‘50’ 15.1°、標高 27.5m）とする。

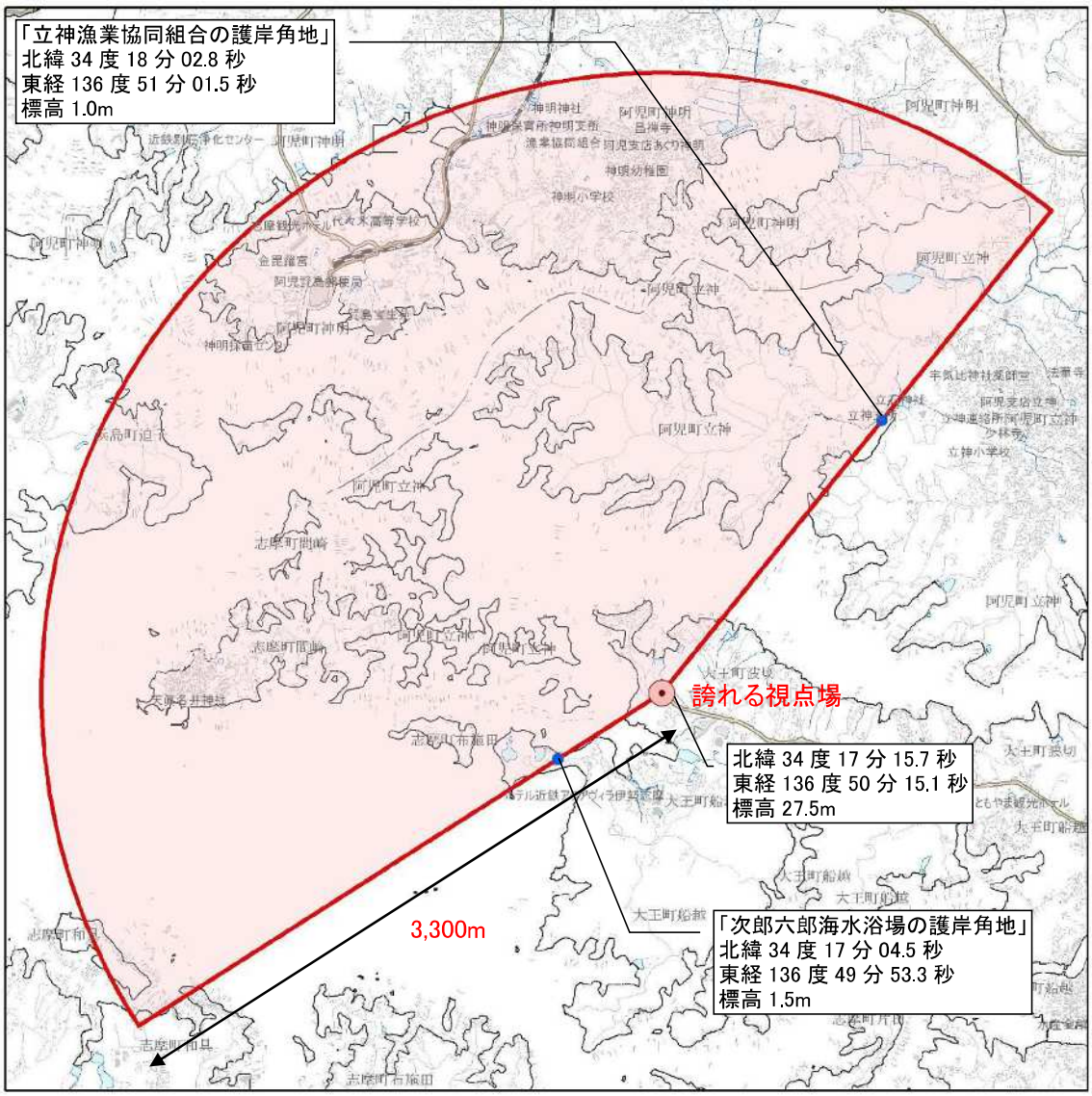


「桐垣展望台眺望景観保全区域」における視点場の位置（ゼンリン住宅地図 1/1500 を基に作成）

視点場（桐垣展望台）の位置

【凡例】●：視点場

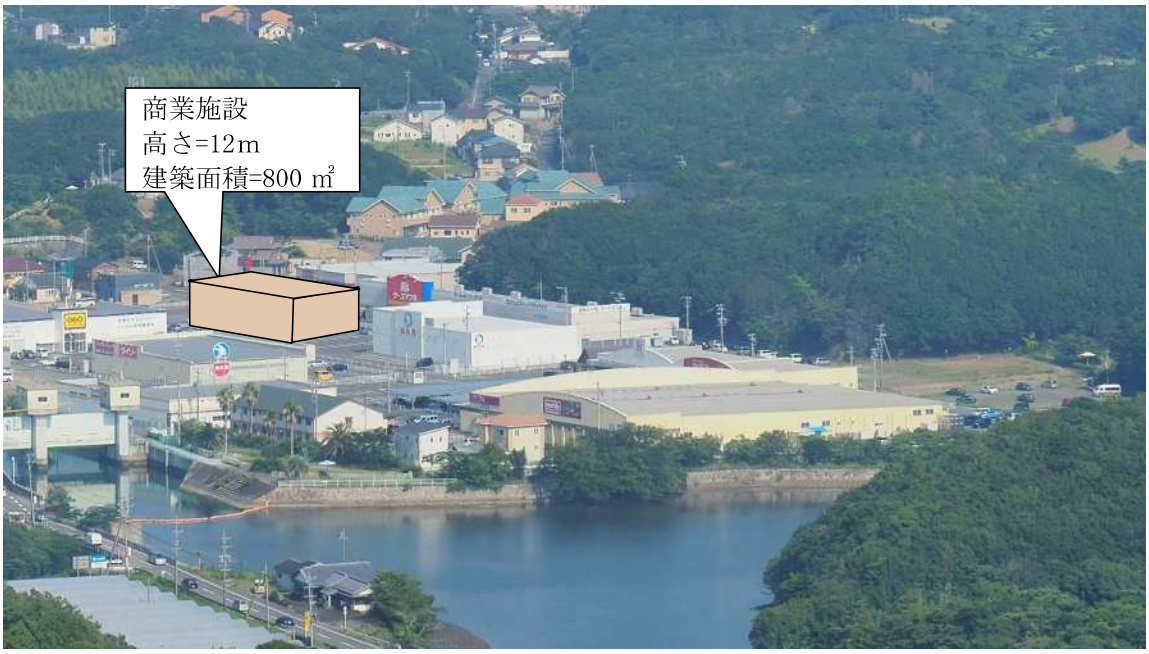
図　桐垣展望台眺望保全地区



出典：2006　三重県共有デジタル地図（数値地形図　2500（道路縁1000））三重県市町総合事務組合

眺望保全地区における写真へのシミュレーション例

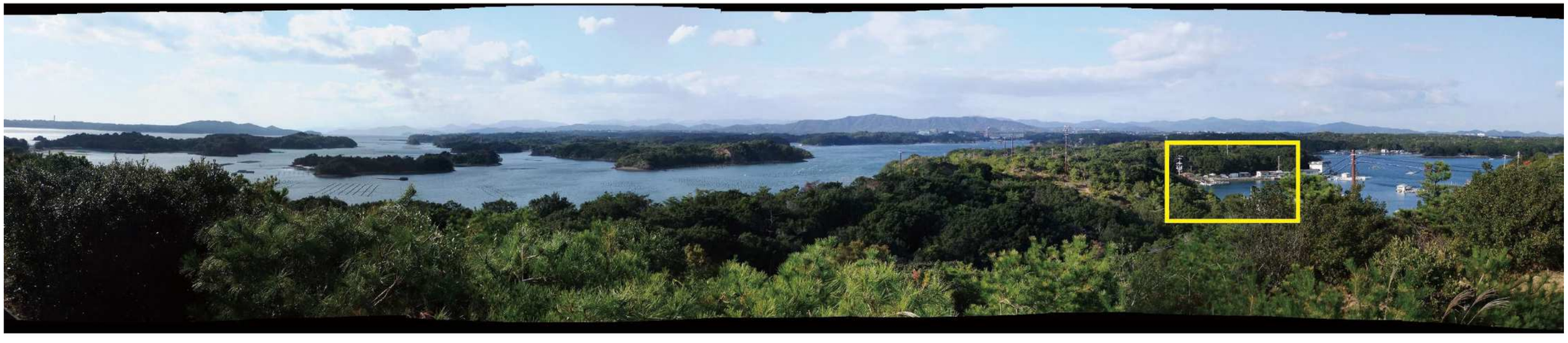
眺望保全地区における写真へのシミュレーション例



眺望保全地区における写真へのシミュレーション例

□眺望保全地区の視点場からの写真

※行為地周辺の概ね 黄枠 程度の大きさの範囲を拡大した写真を使用し、シミュレーションしてください。

横山展望台眺望保全地区

桐垣展望台眺望保全地区